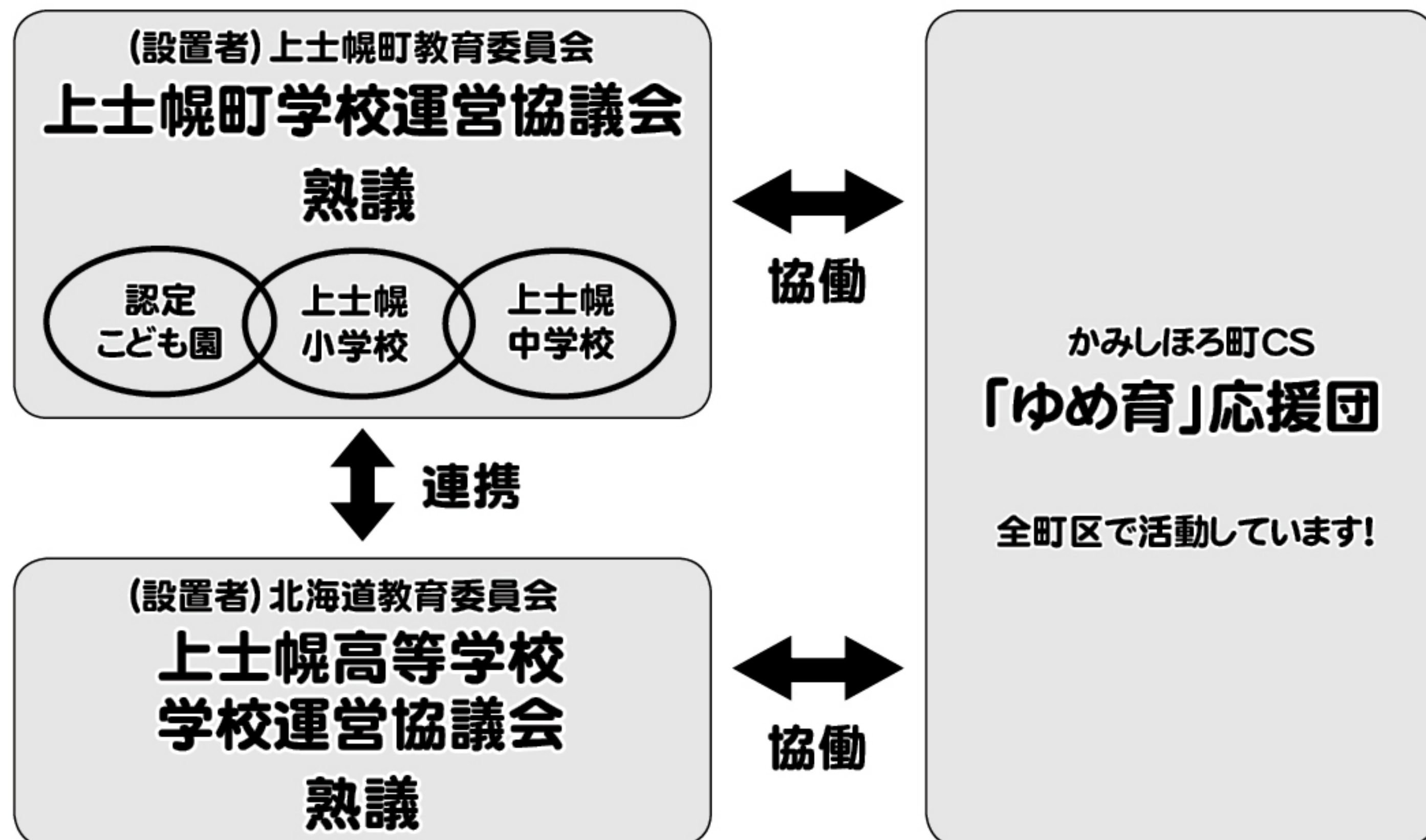


令和4年度CS新体制スタート

平成28年度からスタートした上士幌町コミュニティ・スクール(CS=学校運営協議会を設置した学校)。平成30年度からは、上士幌町認定こども園・上士幌高等学校がCSに加わり、学校長の権限と責任のもと、地域の皆さんの声を学校に取り入れ、「地域とともにある学校づくり」を進めてきました。

令和4年度からは、認定こども園・上士幌小学校及び上士幌中学校を1つのCSに統合し、「ゆめ育」応援団の皆さんと協働しながら、地域総ぐるみで子どもたちを育てていきます。



令和4年度スタート! 「ゆめ育」応援団大募集!

令和4年度の活動がスタートします! ぜひこの機会に、「ゆめ育」応援団に登録してみませんか? 子どもたちと一緒に、楽しく元気に学び合しましょう!

- Q 「ゆめ育」応援団ってどんな活動をするの?**
A 「授業のサポート」「放課後の活動サポート」「本の読み聞かせ」「得意分野を生かした授業」「あいさつ・見守り」など、いろいろな活動があります。園や学校に来ることが難しい場合は、「自宅付近での登下校見守り」や「自宅外灯の点灯時間延長」など、無理のない形での参画も可能です。CSコーディネーター(橘・明石)から具体的な活動をご案内いたしますので、ご安心下さい。
- Q どんな登録のしかたがあるの?**
A 「団体登録」「個人登録」があります。会社として、サークルとして、個人として、登録していただくことができます。
- Q どのように登録するの?**
A 右記「QRコード」から登録可能です。また、上士幌町教育委員会に「申込用紙」が設置されていますので、そちらからお申し込みいただくことも可能です。お待ちしております。



上士幌中学校の取り組み

中学1～3年生「国際理解授業」

「各国との出会いから、世界と日本・世界と自分のつながりを実感する」「世界が直面している課題を学び、解決のためにできることを考える」ことを目的として実施しました。

国際理解学習では、自己の確立、日本や外国の歴史・文化の理解と尊重、地球的視野と多様なものの見方、人間尊重と共に生きるという考え方、表現力・コミュニケーション力など、たくさんの学びが必要です。上士幌中では、それぞれの発達段階に応じて、実践的な態度や能力を育成するため、直接的な異文化体験や、ワークショップ(体験型)形式の授業づくりを推進しています。

1年生「従業員の皆さんからベトナムを学ぶ」

「ゆめ育」応援団 株式会社ノベルズ

ノベルズ延與友紀さんに、世界から見た日本の印象、外国人が日本で働く理由、ノベルズで働く外国人、世界の物価を教えてもらった後、ベトナムについて詳しく学びました。

ベトナム人は、「家族を大事にする」「世話好き」「前向き」「サッカー大好き」「手先が器用」「よく笑う」など特徴があるそうです。

生徒からベトナム人の皆さんに、「日本とベトナムの似ているところ」「ベトナムの方言」「食事のマナーの違い」「ベトナムのお祭り」など質問し、答えてくれたお礼に、学校で学んだ「赤とんぼ」の歌を披露しました。



2年生「地球温暖化を考える」

「ゆめ育」応援団 津守佑亮 氏

「地球温暖化の原因として考えられること」「温暖化防止に対して、自分たちにできること」を一人ひとりが調べてから、授業に臨みました。津守さんから、地球温暖化の現状や問題点、「氷河喪失による、氷河湖決壊の問題」を教えてもらった後、「加害者」「被害者」「問題化する原因・解決しない原因」「責任のある・正しい行動」の4つの視点で、考えを深めていきました。

「温暖化の被害があることに想像力を働かせ、選択肢がある時には、より負荷の少ないほうを選ぶ」「自分たちがどう行動するかを常に考える」ことの重要性を学びました。



3年生「モザンビークの人とオンラインで学ぶ」

JICA海外協力隊 中山舞子 氏

上士幌町で活動経験のある中山舞子さん(モザンビークに派遣中)とオンラインでつながり、現地の「食」を主なテーマとして学びました。

中山さんが派遣されている町では、約85%が農業に従事しており、ほとんど利益が出ない中で生活しているとのこと。

上中生が事前に用意した質問事項に、同世代のモザンビークの子どもたちが答えてくれましたが、日本の事をとてもよく知っていました。

「日本人は外国のことをどのくらい知っているかな? お互いをよく知ることが、世界をより良くしていくきっかけになる」ことを中山さんから学びました。

